

令和4年度 学校関係者評価及び改善策

(中間・**最終**)

昭和北中学校区 校番18 学校名 昭和北中学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標、指標の設定の適切さ	A	身に着けたい力として、自己認識・人生の選択・自己表現を目指して設定されており、生徒の現状を踏まえ、育成すべき資質・能力を考えて設定されており大変良いと思います。 基礎・基本が大切であり、途中でわからなくなったりすると、あきらめて、以後の学習がつまらないと思わせない目標を引き続きたててもらいたい。 自分の志を表現できる生徒を育成している。
目標達成のための方策の適切さ	A	方策についても、それぞれの指標を設定し具体的に考えて進められているのでよいと思います。ただ、それぞれの先生が目標達成のため方策を理解し、実施していくかを考えてやっていかないと生徒保護者の受け取り方に違いが出ると思う。共通認識を持って頑張っていたきたいと思います。 概ね適切である。 課題克服を意識した授業が実践されている。
自己評価の結果と分析の適切さ	A	生徒・保護者のアンケートをもとに、達成された項目、達成できなかった項目など細かく分析されて、改善策に繋げているのでよいと思います。いろいろ取り組まれて達成できたことは良かったと思います。ただ、達成できなかった理由原因をどう考え、各先生がどう取り組めば改善できるかと言うことを共通意識として把握できれば良いと思います。頑張ってください。 結果・分析については、適切に実施されている。 授業が分かりやすいと感じている生徒の割合が多い。
今後の改善策(案)の適切さ	A	改善策についても、良く考えられていると思います。ただ、各先生が、改善策をどのように理解し、自分の教育活動に生かしていくかを考えられれば良いと思います。また、生徒の実態は幅が広いので改善策についても、柔軟に取り組めるような方策を考えたほうが良いと思います。 自校版生活ノートの提出率が低いとされているが、「継続してコツコツやっていくこと」が、中学生生活の集大成である入試につながることを理解させる必要がある。 授業改善をさらに進めている。
その他		全員の先生が同じ歩調で取り組むのは、それぞれの力量が違うので難しいと思います。学年主任を中心にできるだけ歩調を合わせて取り組むように頑張ってください。また、いろいろな家庭環境で育った生徒が居りますので、同じように取り組んでも成果は出にくい面もあることも良くわかります。頑張ってください。 入試制度の変更で、現場の最前線である教職員の負担が大きくなっていることを危惧している。 授業が分かりやすいと感じる生徒の割合のポイントが、ペア・グループ学習で改善できていることが良いと思います。

※ 評価は、A(とても適切)、B(概ね適切)、C(あまり適切でない)、D(まったく適切でない)、N(分からない)

学校関係者評価を受けての今後の改善策	<p>コロナ感染対策など大変な状況の中で先生方は、良く頑張っておられると思います。そんな中で、自己評価が達成できたところが増えたことは素晴らしいと思います。業務が多すぎて会議の時間は取りにくいと思いますので、目の前の事例をもとに具体的な取り組みを行いながら、各先生が教育力を高められたらいいですね。</p> <p>生徒指導規程の見直しについては、生徒の声を積極的にくみ上げてもらい、自分達の決まりは自分達で決めてもらいたい。ただし、わがままやエゴにならないよう、大人と子どもがお互い納得できるようにしなければならぬ。</p> <p>コロナも下火になりつつあり、本来の学校生活に戻つつあると思うが、服装・時間・挨拶への指導を通しての自己指導能力の育成において、自肅の弊害が出ているように思う。</p> <p>現3年生の面接指導について、手探り状態だったと思うが、次年度以降、先生の指導のみならず、希望する保護者(又は地域住民)を呼んで、クラス単位等で面接トレーニングをしてはどうか。</p> <p>先生方の指導のむずがしさがよく分かりました。各生徒・家庭の考え方の多様化、個性が常識等のラインが曖昧で、価値観相違等々、幅広い指導が必要で、又、方法力に期待します。地域では、礼儀正しいあいさつがあり、たのしく感じております。</p>
--------------------	--